

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月26日作成

事業番号	004298	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	救助活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	② 救助活動の強化				
関連する個別計画	救助活動用資機材等整備・更新計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	様々な自然災害やテロ等の特殊災害に対応すべく、各種救助用資機材の整備をするものです。								
対象	救助活動用資機材								
内容	山岳救助をはじめ、水難救助、交通救助等のあらゆる災害を想定し対応するための機材を計画的に整備します。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	0	1,052,784	0	
	人件費	0	309,310		
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	309,310	0	
	総事業費	0	1,362,094	0	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源		259,774		
	一般財源	0	1,102,320	0	
	財源合計	0	1,362,094	0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
資機材の整備	老朽化した資機材から整備	購入数	0	25	0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
	整備計画に基づき整備	購入数	0	25	0

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 救助活動に不可欠な資機材である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 隊員の安全が確保されるとともに効率的な災害活動の実施につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 より安全に救助活動が実施できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 対応速度の向上により災害の早期収束に寄与する。

令和元年度までの自己評価または改善点	整備が遅れたことにより、老朽化した資機材が限界を迎えつつある
--------------------	--------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 資機材の検討、選定が必要なため不可能。
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	過酷な環境下で使用し、老朽化した潜水資機材等を中心に整備する。
令和3年度以降の方向性	整備計画をもとに継続する。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に整備していただきたい。
-----------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月26日作成

事業番号	011505	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P106 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の 整備	③ 救急資機材の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	新型コロナウイルス感染症への持続的な対応力を強化するもの。								
対象	消防職員、地域住民								
内容	感染症対応資機材を増強し感染症対策の徹底を図るもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)			
	事業費	0	0	5,753,920		
コスト 人件費	常勤職員		324,313			
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	324,313		
総事業費	0	0	6,078,233			
財源内訳	国庫支出金		5,753,920			
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	324,313		
	財源合計	0	0	6,078,233		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
感染対策資機材の購入	感染対策一式	購入数	—	—	414	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		令和2年度からの事業
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		令和2年度からの事業
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		令和2年度からの事業
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		令和2年度からの事業

令和元年度までの自己評価または改善点	令和2年度からの事業
--------------------	------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	消防用感染防止対策物品購入のため(感染性廃棄物の収集は委託)
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	地域感染状況を見極め、計画的に更新整備する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	新型コロナウイルスの感染状況により、必要資器材の見直しを行い継続的に実施する。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年 月 日作成

事業番号	012862	担当課等	消防本部 警防課							
事務事業名	抗原検査キット等備蓄事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P61 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で 暮らせるまちづくり	I 保健・医療の充実	2 予防対策	(2) 感染症対策の推 進	② 感染症に関する正し い知識の普及啓発				
関連する個別計画	予防接種事業(保健センター)								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校や事業所等で新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された際、県が検査を実施する濃厚接触者以外の方を対象に、自身が感染しているか迅速に判断できるよう、抗原検査キットを購入し備蓄する。								
対象	感染者が確認された町内の事業所等の濃厚接触者以外で希望する方。								
内容	抗原検査キットの備蓄。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	0		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	0	0		
財源内訳	国庫支出金			0		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	0	0	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
管理用品購入		抗原検査キットの購入	個	-	-	500
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
管理用品購入		抗原検査キットの購入	個	-	-	500

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
令和元年度までの自己評価または改善点		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては見直しも検討する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため継続する必要がある。
------	--------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

使用期間が限られているため、管理方法を検討する必要がある。
-------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年 月 日作成

事業番号	012863	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	救急活動感染症対策用資器材整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の整備	③ 救急資器材の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	感染症患者搬送時、家族等への二次感染防止、各種救急資器材を滅菌する装置及び防護服を整備するもの。								
対象	消防職員、感染患者家族等								
内容	感染症患者搬送装置、オゾン水生成装置及び職員防護用品一式を整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	0	0	0		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	0	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	0		
	財源合計	0	0	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
感染対策資器材の購入		感染対策一式	購入数	—	—	206
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定
令和元年度までの自己評価または改善点		令和2年度からの事業。令和3年度に繰り越し予定	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	救急活動時に使用する物品の購入のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	地域感染状況を見極め、計画的に更新整備する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	新型コロナウイルスの感染状況により、必要資器材の見直しを行い継続的に実施する。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月19日作成

事業番号	004374	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	消防団活動用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	県補助を受けながら各分団が必要とする資機材等を整備する。								
対象	消防団の資機材								
内容	投光器やホース、安全装備品等を順次整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	1,265,101	853,200	841,995		
	人件費	904,680	927,930	884,490		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	904,680	927,930	884,490		
	総事業費	2,169,781	1,781,130	1,726,485		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	503,000	426,000	272,000		
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,666,781	1,355,130	1,454,485		
	財源合計	2,169,781	1,781,130	1,726,485		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
備品購入		メニュー方式	円	1,265,101	853,200	900,000
県補助額		補助対象	円	503,000	426,000	450,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
備品購入		メニュー方式	円	1,265,101	853,200	900,000
県補助額		補助対象	円	503,000	426,000	450,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防団事業のため必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 士気高揚に資している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 各消防団が必要な資機材等をそろえている。
令和元年度までの自己評価または改善点	消防団活動時に必要となる資機材を整備する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	消防団活動時に必要となる各種資機材等を整備していく。	
令和3年度以降の方向性	補助が受けられる間実施していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防団活動の充実・強化のため、継続する必要がある。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的な整備を進めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月19日作成

事業番号	007601	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	神奈川県消防操法大会事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	昭和 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消防団)の充実				
関連する個別計画	隔年で町主催行事								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	神奈川県消防操法大会に出場する代表分団に対して、強化・支援体制をとることで士気高揚を図り、地域消防力の向上を図っている。								
対象	消防団員								
内容	神奈川県消防操法大会に出場する消防団員の被服や備品を整備し、訓練期間中の諸経費などと併せて総合的な支援を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	656,234	0	0		
	人件費	904,680				
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	904,680	0	0		
	総事業費	1,560,914	0	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,560,914	0	0		
	財源合計	1,560,914	0	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
大会用資機材整備		大会用資器材購入数	式	5	-	5
訓練参加		訓練参加人数	人	400	-	400
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
県大会順位		消防操法技術	位	4	-	1

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防団の強化が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 消防団員の技術向上により、県大会での上位の成績を収めている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域防災力が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 地域防災力の向上につながるため、受益機会が均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	操法大会終了後に反省会を行い、不備な点を改善している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	大会出場
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし(令和2年度実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しなかったもの。)	
令和3年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症が収束次第、従来通り実施していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町の行事として継続する必要がある。
------	----------	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月19日作成

事業番号	010238	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	消防団救助能力向上資機材整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	02	事業開始年度	令和元年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	III 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	③ 非常備消防体制(消 防団)の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	災害時における効果的な救助活動を促進し、救命率の向上を図るため国庫補助金を受け、救助用資機材を整備するものです。								
対象	消防団の資機材								
内容	油圧救助資機材やエンジンカッター、AEDなどを整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費		2,021,250		
コスト	常勤職員		927,930		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	927,930	0	
	総事業費	0	2,949,180	0	
財源内訳	国庫支出金		620,000		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	2,329,180	0	
	財源合計	0	2,949,180	0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
備品購入	救助用資機材等	円	0	2,021,250	-
国庫補助額	補助対象	円	0	620000	-
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
備品購入	救助用資機材等	円	0	2,021,250	-
国庫補助額	補助対象	円	0	620000	-

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防団事業のため必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 士気高揚に資している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 消防団が必要な救助用資機材等をそろえている。
令和元年度までの自己評価または改善点	消防団活動時に必要となる救助用資機材を整備する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	物品の購入等
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	事業終了	
令和3年度以降の方向性	事業終了	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和2年2月5日
------	----	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月19日作成

事業番号	004453	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	消防指令車整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常備消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	研修や重複災害など多目的用途で使用する消防指令車をリース契約することで、ランニングコストが削減でき、財政負担の軽減になる。								
対象	消防車両								
内容	平成22年10月からリース契約を結んだ消防指令車の契約満了に伴い、令和2年10月から新車両でのリース契約(5年間)を結んだもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	738,720	725,760	1,065,140	
コスト 人件費	常勤職員	90,463	176,898		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	90,463	176,898		
	総事業費	829,183	1,242,038		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	148,702	218,138		
	一般財源	680,481	1,023,900		
	財源合計	829,183	1,242,038		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
車両整備	リース契約	年	実施	実施	毎年
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
車両整備	リース契約	年	実施	実施	毎年

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 研修や重複災害に使用でき、必要性があります。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 重複災害に出場している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 傷病者搬送や研修等で活用している。 財政面では、リースすることで負担の平準化と突発的なコストの削減ができています。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 対応速度の向上により災害の早期収束に寄与する。

令和元年度までの自己評価または改善点	リース契約を行っているため、維持管理がリース料のみとなっている。
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	リース契約料
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成22年10月から10年間リース契約を結んでいた消防指令車の契約満了に伴い、令和2年10月から新車両でのリース契約(5年間)結んだもの。	
令和3年度以降の方向性	今後も継続的に行う必要がある。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	多目的に使用できる消防指令車は、必要不可欠なため
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月25日作成

事業番号	010702	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防ポンプ自動車整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備				
関連する個別計画	消防車両整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	常備及び非常備消防の消防ポンプ自動車を消防車両整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対象	消防ポンプ自動車								
内容	災害の最前線で活動する消防ポンプ自動車を整備するもの。 平成30年度: 配備から18年経過した第3分団消防ポンプ自動車の更新。 令和2年度: 配備から20年経過し奥湯河原分署に配備されていた消防ポンプ自動車の更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	20,185,100	0	41,023,670	
	人件費				
	常勤職員	2,714,040		2,653,470	
	会計年度任用職員等	301,560			
	人件費合計	3,015,600	0	2,653,470	
	総事業費	23,200,700	0	43,677,140	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	5,630,000		5,700,000	
	地方債	14,300,000		35,100,000	
	その他特定財源				
	一般財源	3,270,700	0	2,877,140	
	財源合計	23,200,700	0	43,677,140	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
備品購入	消防ポンプ自動車	台	1	0	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
消防力の整備指針に基づく 整備数	消防力の整備指針に基づく 整備数の維持	台	1	0	1

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 消防活動に不可欠な資機材であり、かつ防災能力の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 更新により最新の機能を有する車両を配備することで、より効率的な災害活動が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 消火活動において効率性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 対応力の向上により、災害の早期収束に寄与する。

令和元年度までの自己評価または改善点	消防車両整備計画により消防ポンプ自動車の更新は17年(15年で主要装備の機能低下)としているが、更新を延長することにより、その後の計画に影響を及ぼすことになる。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防車両の整備事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	消防車両整備計画の見直し
令和3年度以降の方向性	今後も計画どおり実施(整備)していく

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

消防団の車両等の管理については、耐用年数等を含め更新時期が重複しないよう考慮する。
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月26日作成

事業番号	007605	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	災害対応特殊救急自動車整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P106 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(2) 救急業務体制の 整備	① 救急自動車の更新				
関連する個別計画	消防車両更新整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	救急自動車を消防車両整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対象	高規格救急自動車								
内容	導入から15年が経過した非常用救急自動車を更新整備するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	32,850,390	6,875,550	0		
	人件費	常勤職員	1,809,360	1,855,860		
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	1,809,360	1,855,860	0	
	総事業費	34,659,750	8,731,410	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	11,502,000				
	地方債	19,500,000	3,200,000			
	その他特定財源	1,665,906	1,927,904			
	一般財源	1,991,844	3,603,506	0		
	財源合計	34,659,750	8,731,410	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
備品購入	高規格救急自動車の購入	台	1	1	0	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
消防力の整備指針に基づく 整備数	消防力の整備指針に基づく 整備数の維持	台	1	1	0	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 救急体制の強化は町民の安心安全を守るために必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 救急活動が円滑となり傷病者への負担が軽減。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 計画的に更新することで得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 継続的な更新により車両別の機材格差が解消されるため受益の機会均等が向上する。
令和元年度までの自己評価または改善点	車両整備計画に基づき更新しているが、1台の更新を延長することにより、その後の計画に影響を及ぼすことになる。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	救急車両の更新事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	試験車両として使用されていた高規格救急自動車をリフレッシュしたものを購入。	
令和3年度以降の方向性	今後も計画どおり実施(整備)していく	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

車両の管理については、耐用年数等を含め更新時期が重複しないよう考慮する。
--------------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月19日作成

事業番号	010703	担当課等	消防本部 総務課							
事務事業名	女子仮眠室等改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	03	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	III 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常備消防体制(消防本部・消防署)の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	女性消防職員の職場環境の整備								
対象	女性消防職員								
内容	消防本部庁舎を一部改修し、女性専用仮眠室、更衣室等を更新整備したもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	0	0	5,830,188	
コスト 人件費	常勤職員		147,415		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	147,415	
総事業費	0	0	5,977,603		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	5,977,603	
財源合計	0	0	5,977,603		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
整備された施設の利用人数	職場環境が向上した職員数	人	-	-	4
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
整備された施設の利用人数	職場環境が向上した職員数	人	-	-	4

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか		令和2年度のみ
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか		令和2年度のみ
類似性	他事業との類似はないか		令和2年度のみ
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか		令和2年度のみ
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か		令和2年度のみ
令和元年度までの自己評価または改善点	令和2年度のみ		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	委託・指定管理の性質にそぐわないため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和2年度のみ	
令和3年度以降の方向性	令和2年度のみで事業完了。今後は、女子仮眠室等の経年劣化の状況を鑑み、適宜整備する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	女性消防職員の職場環境が整ったため。(令和2年8月完了)
------	----	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月26日作成

事業番号	010704	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防ポンプ自動車整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防 本部・消防)の整備				
関連する個別計画	消防車両整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	真鶴分署の消防ポンプ自動車を消防車両整備計画に基づき、整備することで消防力の充実強化を図るものです。								
対象	消防ポンプ自動車								
内容	災害の最前線で活動する消防ポンプ自動車を整備するもの。 令和2年度: 配備から18年経過した真鶴分署配備の消防ポンプ自動車を更新								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)			
	事業費	0	0	41,573,890		
コスト 人件費	常勤職員		2,653,470			
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	2,653,470		
総事業費	0	0	44,227,360			
財源内訳	国庫支出金		13,831,000			
	県支出金		5,700,000			
	地方債					
	その他特定財源		22,129,000			
	一般財源	0	0	2,567,360		
	財源合計	0	0	44,227,360		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
備品購入	消防ポンプ自動車	台	0	0	1	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
消防力の整備指針に基づく 整備数	消防力の整備指針に基づく 整備数の維持	台	0	0	1	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消防活動に不可欠な資機材であり、かつ防災能力の維持・向上を確保するため、計画的な更新整備が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	更新により最新の機能を有する車両を配備することで、より効率的な災害活動が期待できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	消火活動において効率性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	対応力の向上により、災害の早期収束に寄与する。

令和元年度までの自己評価または改善点	消防車両整備計画により消防ポンプ自動車の更新は17年(15年で主要装備の機能低下)としているが、更新を延長することにより、その後の計画に影響を及ぼすことになる。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防車両の整備事業であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	消防車両整備計画の見直し
令和3年度以降の方向性	今後も計画どおり実施(整備)していく

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

車両の管理については、耐用年数等を含め更新時期が重複しないよう考慮する。
--------------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月26日作成

事業番号	009833	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防用資機材等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	令和元年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	Ⅲ 安全な暮らしの確保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常時消防体制(消防本部・消防)の整備				
関連する個別計画	消防用ホース整備計画 空気呼吸器用ボンベ整備計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	各種整備計画に基づき、消防用資機材の整備を行うもの。								
対象	消防署員が使用する資機材								
内容	消火活動において不可欠となる資機材を更新整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	0	855,468	715,000		
	人件費		61,862	58,966		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	61,862	58,966		
	総事業費	0	917,330	773,966		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源		917,330	715,000		
	一般財源	0	0	58,966		
	財源合計	0	917,330	773,966		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
資機材(ホース)の購入		消防用ホース配備	本	0	7	7
資機材(呼吸用ボンベ)の購入		呼吸器用ボンベの配備	本	0	2	2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
更新整備計画に基づく配備数		更新整備計画に基づく	本	0	7	54
		配備数の維持	本	0	2	8

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	消火活動等に不可欠な資機材である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	隊員の安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	より安全に災害活動に従事できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	隊員の安全性向上が二次災害防止(受傷事故)にも寄与する。

令和元年度までの自己評価または改善点	必要最低数の整備となっている。
--------------------	-----------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 消防用資機材であり、使用する消防が実施する必要がある。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	各種整備計画どおり消防用資機材の整備を継続し、保有基準数を確保する。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消防力を維持するため整備計画に基づき継続的に更新整備を行う必要がある。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

耐用年数及び劣化状況等を踏まえて、整備を進めていただきたい。
--------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年2月26日作成

事業番号	004553	担当課等	消防本部 消防署							
事務事業名	消防職員用被服整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	08	項	01	目	04	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P105 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和 した安全・安心のまち づくり	Ⅲ 安全な暮らしの確 保	5 消防救急	(1) 消防体制の整備	① 常備消防体制(消防 本部・消防署)の整備				
関連する個別計画	消防職員用被服整備事業								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	活動服の更新整備を行うもの。								
対象	消防職員								
内容	冬活動服を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	583,200	0	0		
	人件費	90,468				
	常勤職員	90,468				
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	90,468	0	0		
	総事業費	673,668	0	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源	583,200				
	一般財源	90,468	0	0		
	財源合計	673,668	0	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
被服整備		整備計画に基づき整備	着	12	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
真鶴分署員への整備数		整備計画に基づき整備	着	12	0	0

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 活動に不可欠である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 隊員の安全が確保できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 得られている
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 環境の快適性が確保され、衛生状況が改善される。
令和元年度までの自己評価または改善点	被服の貸与は定期的に行う必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 委託する必要性がない。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	継続的に貸与を行う。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	消耗した被服等の貸与品は安全に活動を行うために必要であるため継続的に整備する。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------